

恭仁宮跡調査 50 周年・文化庁移転記念事業

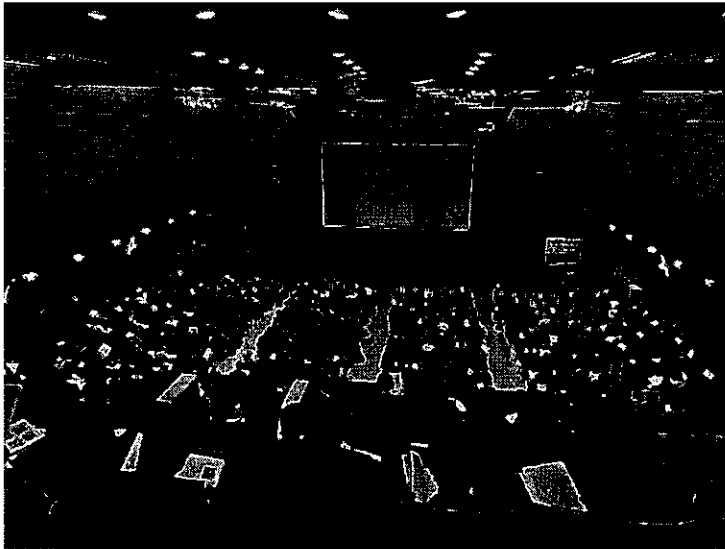
「恭仁宮フォーラム」について

令和 5 年 2 月 21 日
文化財保護課

「恭仁宮フォーラム」を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 日時 令和 5 年 2 月 4 日（土）10 時～16 時
- 2 会場 国立京都国際会館 RoomA
- 3 主催 京都府、京都府教育委員会、木津川市、木津川市教育委員会
共催 文化庁
- 4 内容
 - ・開会挨拶 知事、教育長
 - ・趣旨説明 文化財保護課長
 - ・成果報告 文化財保護課 古川主査 「恭仁宮発掘 50 年のあゆみ」
 - ・基調講演 瀧浪貞子 京都女子大学名誉教授
「恭仁京と聖武天皇～「幻の都」の謎に迫る～」
 - ・基調講演 上原真人 京都大学名誉教授
「恭仁宮のうたげー漢詩宴と倭歌宴ー」
 - ・基調講演 山下信一郎 文化庁文化財第二課長
「史跡恭仁宮跡の保存と活用」
 - ・トークセッション「恭仁宮の歴史的評価」
パネラー 澤田 瞳子 氏（第 165 回直木賞作家）
上原 真人 氏
瀧浪 貞子 氏
山下 信一郎氏
古川 主査
 - ・閉会挨拶 木津川市長
- 5 参加人数 537 名



【その他関連事業】

◇史跡見学会「恭仁宮を探検しよう」

日時 令和5年2月5日（日）11時～15時
 場所 国指定史跡恭仁宮跡
 内容 文化財保護課の専門職員が現地で解説
 参加人数 198名

◇普及啓発事業「恭仁宮を体験しよう」

日時 令和5年2月18日（土）、19日（日）10時～18時
 場所 イオンモール高の原 平安コート（木津川市）
 内容 瓦作り体験、バッジ作り体験など
 参加人数 （資料作成時、未実施）

恭仁宮フォーラム 基調講演・トークセッションの要旨

基調講演 瀧浪貞子 京都女子大学名誉教授

「恭仁京と聖武天皇～「幻の都」の謎に迫る～」

聖武天皇の恭仁京遷都は、入念に計画された遷都だった。恭仁京遷都の最大の目的は、紫香楽に大仏を作るにあたっての拠点とするためであったと考えられる。

基調講演 上原眞人 京都大学名誉教授

「恭仁宮のうたげ—漢詩宴と倭歌宴—」

恭仁宮遷都以前の宴では、男性だけが参加し漢詩を詠む中国風の宴が多く実施された。それに対して、恭仁宮の時代には女性も参加する倭歌（和歌）を詠む宴が好まれた。倭歌の宴が多いことは、『万葉集』の成立にも寄与したのではないか。

基調講演 山下信一郎 文化庁文化財第二課長

「史跡恭仁宮跡の保存と活用」

恭仁宮跡はわが国を代表する重要な都城遺跡の一つで、奈良時代の政治史を知る上で欠かせない。学習の場、憩いの場、地元住民のアイデンティティ創出の場、文化観光資源の場として今後、保存活用の方針を定めてほしい。

トークセッション

パネラー

澤田 瞳子 氏（第165回直木賞作家）

上原 眞人 氏

瀧浪 貞子 氏

山下 信一郎氏

古川 主査

- ・恭仁宮は、仏教による鎮護国家を重視した聖武天皇の意向を反映した遺跡。
- ・奈良時代の当時の人が見たのとおなじ視点で美しい自然を堪能することができる。
- ・恭仁宮はだいぶ解明が進んだが、不明な点も多い。今後も調査を継続してほしい。
- ・恭仁宮の時代は、京都の恭仁宮、奈良の平城宮、滋賀の紫香楽宮、といった複数の都城が有機的に関連した時代。今後、各遺跡のある自治体等と連携してほしい。